

佐賀さいこうビジュョン

# 人の想いに寄り添う

Considerate



## 1 点字図書館リニューアル

これまで視覚障害者向けに点字図書や録音図書の製作・貸出などを行ってきた点字図書館は、令和4（2022）年4月に「視覚障害者情報・交流センター」あいさが「（仮称）」としてリニューアルオープンします。

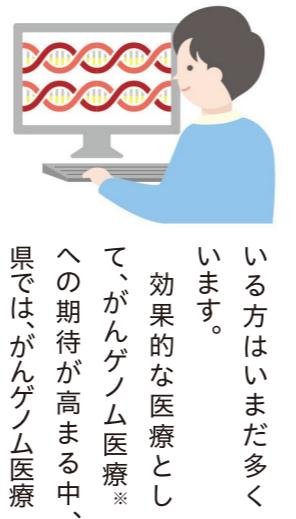
それに合わせて、視覚障害者に限らず、より多くの方が活用できるよう最寄りの公共図書館を通じて図書を利用できる仕組みを作っています。また、専門の相談員を配置して支援に力を入れるほか、視覚障害者とその家族の交流スペースも新たに設けます。

図書サービスだけでなく、視覚相談や交流の場としても利用される施設を目指します。

## 2 佐賀を支える ドクターを育て、 支援します

高齢化に伴い増加する医療需要への対応が求められる中、誰もが安心して医療サービスを受けられるよう、県では、

新たな設けます。



いる方はいまだ多くいます。

効果的な医療として、がんゲノム医療※

への期待が高まる中、

県では、がんゲノム医療

提供体制を強化するため、県がん診療

連携拠点病院である佐賀大学医学部附属

病院の専門医の配置や、育成などの人員

体制強化を支援します。がんゲノム医療を

必要とする患者の方々に十分に対応できる

よう、体制を構築し、県内のがんゲノム医療

を充実させていきます。

※がんゲノム医療／がん細胞に起きている遺伝子の変化を調べ、それに応じた薬剤を選定するなど一人一人の体质や病状に合わせて治療などをを行う医療。

## 3 医療的ケア児※の 保護者にきめ細やかな サポートをします

医療的ケア児の在宅生活を日々懸命に支えている保護者の経済的・精神的負担は非常に大きいものとなっています。県では、保護者などが介護から一時的に離れ休息（レスパイ）できる環境づくりをより一層進め、併せて日頃抱えている悩みや困りごと、必要としている支援の実態を把握するとともに、気軽に相談できる専門窓口の開設や、在宅生活に必要な情報をまとめたガイドブックの作成・配布を行っています。

今後も医療的ケア児と保護者が安心して在宅で生活できる環境を整えていきます。

※医療的ケア児／人工呼吸器や胃ろう等を使用したんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な児童のこと。

## 4 がんゲノム医療提供体制を強化します

医療技術の向上などにより、がん患者の生存率は改善傾向にあります。しかし、治療が難しい難治性がんなどを患つて

## 5 「さがすたいいる」 やさしさのカタチ

県では、お年寄りや障がいのある方、妊娠・子育て中の方など、みんなが心地よく暮らすことができる、人にやさしいまちのスタイル「さがすたいいる」を広める取組を行っています。



レッツさがすたいいるトーク



さがすたいいるフェス(マルシェ)



「さがすたいいる」を  
広めていくためには、  
一人ひとりが同じと  
ころ・違うところも  
あるという多様性を当たり前のことと  
して受け入れることが大切です。

今年度は新たに、秋に開催される「佐賀さいこうフェス」においてイベントを開催するなど、多様な方々が自然な形で触れ合う機会を更に増やし、みんなが自然な形で、お互いが尊重し合えるような、人にもやさしい佐賀県をつくっていきます。



伊万里高等学校での医"志"を知るセミナーの様子

## 1 令和4年4月開館予定

医師の育成と定着を推進する「SAGA Doctor-Sプロジェクト」を進めています。

高等学校での現役医師による講演会などを実施し、高校生の医学への関心を高めるとともに、佐賀県で学び・働き・活躍する医師を増やすため、佐賀大学に設置した「医師育成・定着支援センター」で医学生や医師のキャリア形成を支援しています。

また、医療機関などと連携し、医師が働きやすい環境づくりや医師が少ない地域でも安心して医療サービスを受けられる体制づくりに取り組んでいます。

## お問い合わせ先

- 【医療的ケア児】 障害福祉課 ☎0952-25-7064 ✉shougaifukushi@pref.saga.lg.jp
- 【がんゲノム医療】 健康増進課 がん撲滅特別対策室 ☎0952-25-7491 ✉kenkouzoushin@pref.saga.lg.jp
- 【さがすたいいる】 県民協働課 ☎0952-25-7068 ✉kenminkyoudou@pref.saga.lg.jp  
さがすたいいるウェブサイト URL <https://saga-style.jp>

